2027年６月期
第１四半期決算説明資料

2026年11月13日

テスホールディングス株式会社

（東証プライム市場　証券コード：5074）

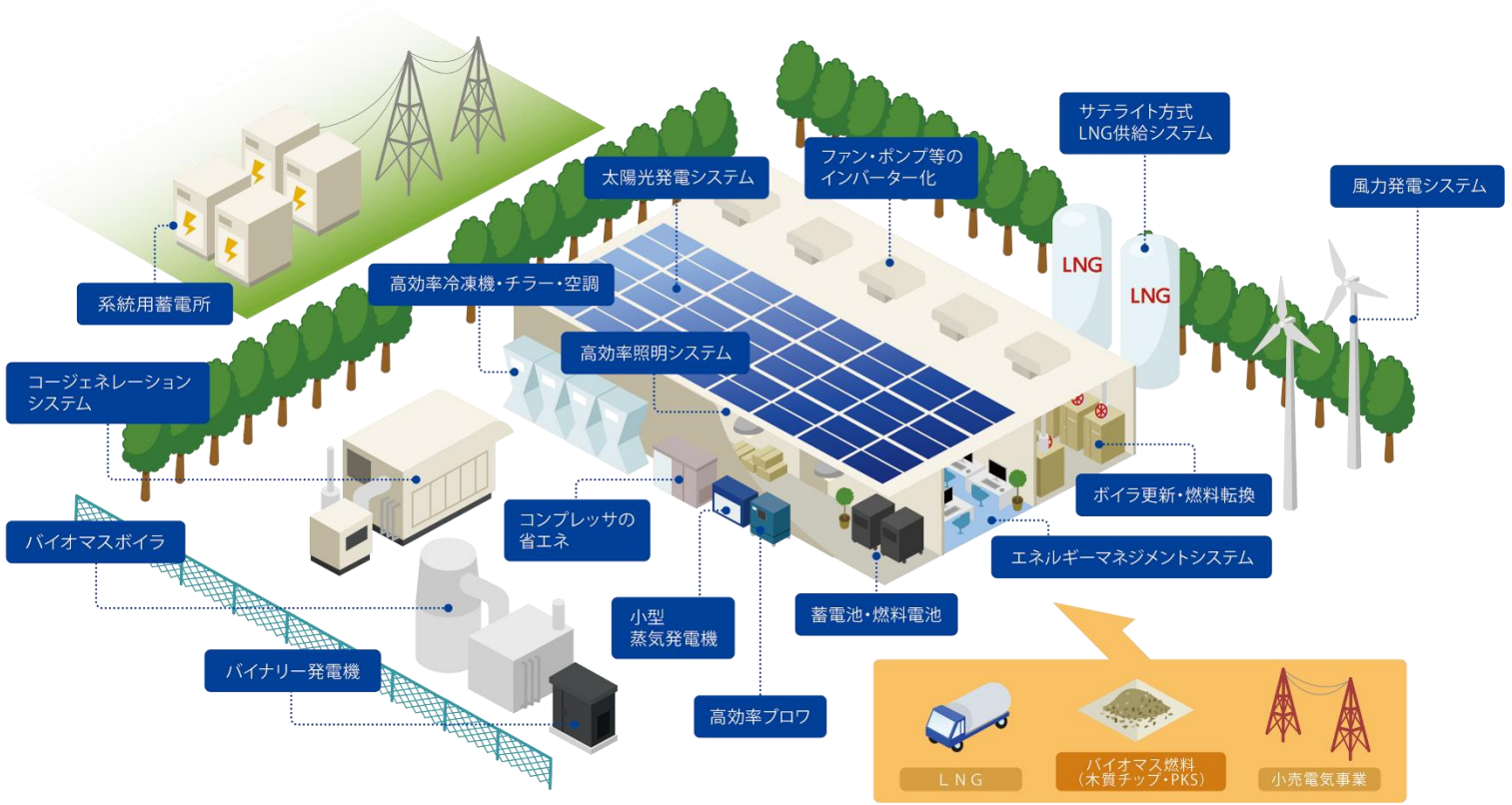
脱炭素のリーディングカンパニー

顧客のTotal Energy Saving & Solutionを実現する会社

TESSグループの取扱アイテム



TESSグループオリジナルキャラクター
「てっちゃん＆すーちゃん」



© TESS HOLDINGS CO.,LTD. All Rights Reserved.

KEY MESSAGE

2027年６月期１Qは前年同期比減収減益だが、通期連結業績予想に変更なし
２Q以降、蓄電池案件を中心に売上計上が本格化予定、引き続き蓄電池パイプラインの具体化に注力

2027年６月期１Q連結業績

売上高	売上総利益	営業利益又は損失（△）	経常利益又は損失（△）	親会社株主に帰属する四半期純利益又は損失（△）	ROE／ROIC
11,876百万円 前年同期比△6.6%	1,227百万円 前年同期比△46.6%	△98百万円 前年同期 995百万円	△552百万円 前年同期 577百万円	△565百万円 前年同期 25百万円	ROE △1.1% ROIC △0.0%

エンジ事業

・省エネ・再エネ共に受託型案件が減収となったものの、開発型の進捗により**売上総利益は横ばい**
・２Q以降に蓄電池案件を中心に売上計上が本格化予定、引き続き蓄電池パイプラインの具体化に注力

エネサプ事業

・主に電気小売の売上増加により**増収**となったものの、
再エネ発電の定期点検・出力制御増加や電気小売の収益性悪化により、前年同期比**減益**

© TESS HOLDINGS CO.,LTD. All Rights Reserved.

【再掲】2027年６月期 連結業績予想及び配当予想

2027年６月期 連結業績予想及び配当予想

売上高	売上総利益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	ROE／ROIC	１株当たり配当金
64,000百万円 前期比＋25.0%	10,450百万円 前期比＋0.3%	4,700百万円 前期比△11.8%	2,900百万円 前期比△24.4%	1,800百万円 前期比△15.2%	ROE 3.7% ROIC 2.1%	9.60円 期末配当

全体	2027年６月期の連結業績予想は前期比増収減益も、蓄電池EPCが伸長し、売上総利益は中計比計画線 中計達成に向け、人員増強をはじめ成長投資を強化
配当	安定配当継続の観点から、**期末配当9.60円を計画**
京都府開発案件	着実に進展しているものの、2026年６月期決算発表日時点でスケジュールは未確定 2027年６月期連結業績予想には含めず

© TESS HOLDINGS CO.,LTD. All Rights Reserved.

1．2027年６月期第１四半期 連結決算概要

© TESS HOLDINGS CO.,LTD. All Rights Reserved.

連結業績

▶ 2027年６月期１Q連結累計期間（2026年７月～2026年９月）の連結業績は、前年同期比減収減益

（単位：百万円）

	2026.6期 １Q累計	2027.6期 １Q累計	2027.6期 通期計画	対前年同期 増減率	業績予想 達成率
売上高	12,709	11,876	64,000	△6.6%	18.6%
売上総利益	2,298	1,227	10,450	△46.6%	11.7%
（利益率）	（18.1%）	（10.3%）	（16.3%）		
営業利益又は営業損失（△）	995	△98	4,700	―	―
（利益率）	（7.8%）	（△0.8%）	（7.3%）		
経常利益又は経常損失（△）	577	△552	2,900	―	―
（利益率）	（4.5%）	（△4.7%）	（4.5%）		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は四半期純損失（△）	25	△565	1,800	―	―
（利益率）	（0.2%）	（△4.8%）	（2.8%）		

© TESS HOLDINGS CO.,LTD. All Rights Reserved.

連結業績サマリ（前年同期比）

（単位：百万円）

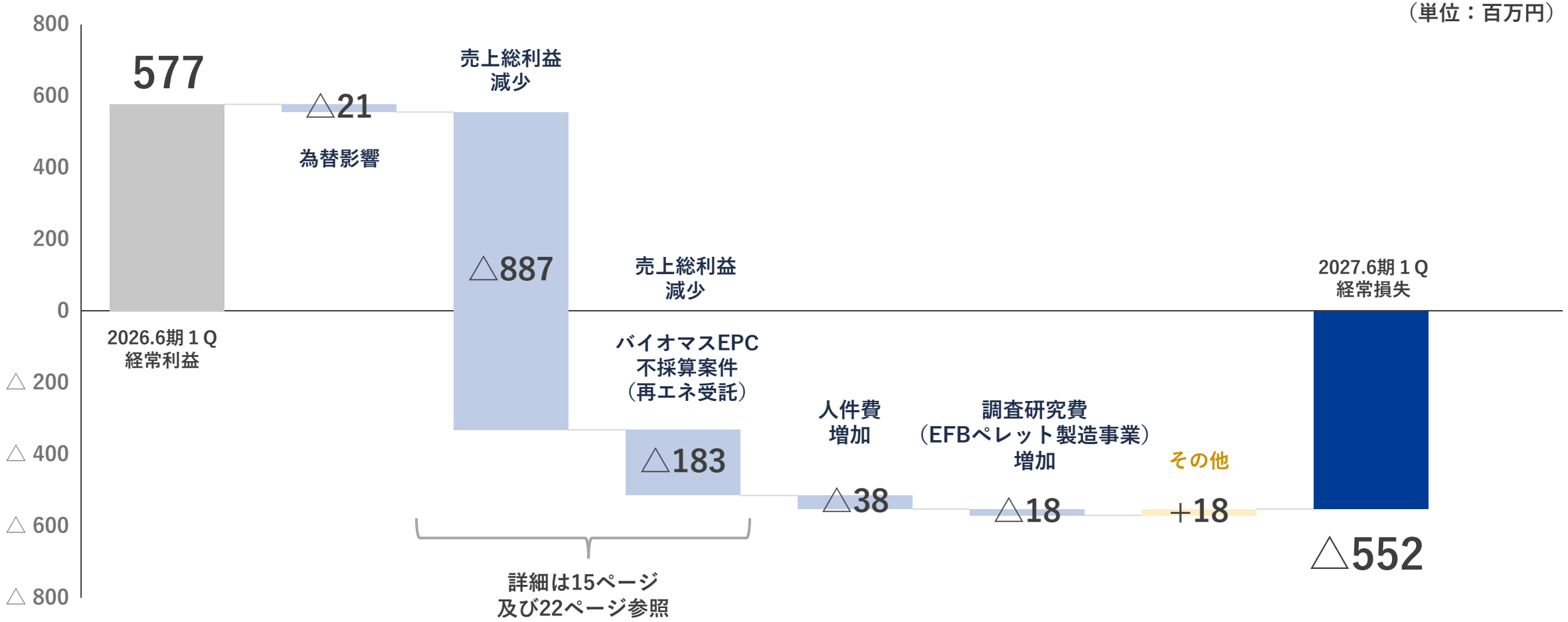
	2026.6期 1Q累計	2027.6期 1Q累計	増減額	主な増減要因
売上高	12,709	11,876	△832	詳細は15ページ及び22ページ参照
売上原価	10,411	10,649	237	詳細は15ページ及び22ページ参照
売上総利益	2,298	1,227	△1,070	詳細は15ページ及び22ページ参照
販売費及び一般管理費	1,302	1,326	23	人員増加に伴う人件費の増加及び調査研究費（EFBペレット製造事業）の増加
営業利益又は営業損失（△）	995	△98	△1,093	
営業外収益	86	129	43	再エネ発電事業関連における営業外収益（設備補助金等）による増加
営業外費用	503	583	80	支払利息、デリバティブ評価損及び為替差損の増加
経常利益又は経常損失（△）	577	△552	△1,130	
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	577	△552	△1,130	
法人税等	519	△19	△538	前年同期の資産除去債務に関連する繰延税金資産を認識しなかったことによる反動減
四半期純利益又は四半期純損失（△）	58	△533	△591	
非支配株主に帰属する四半期純利益	33	32	△0	
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	25	△565	△590	

© TESS HOLDINGS CO.,LTD. All Rights Reserved.

経常利益の主な変動要因（前年同期比）

▶ 2027年６月期１Q連結累計期間の経常損失は△552百万円（前年同期は経常利益577百万円）
主な変動要因は以下のとおり

（単位：百万円）



© TESS HOLDINGS CO.,LTD. All Rights Reserved.

連結貸借対照表

（単位：百万円）

	2026.6期 通期実績	2027.6期 1Q実績	増減額	主な増減要因
流動資産	43,194	47,409	4,214	エンジニアリング事業のEPC等に係る前渡金の増加
固定資産	121,752	121,223	△528	減価償却の進行に伴う固定資産の減少及び オンサイトPPA案件の進捗等に伴う建設仮勘定の増加
資産合計	164,946	168,633	3,686	
流動負債	34,439	41,092	6,652	エンジニアリング事業のEPC等に係る契約負債の増加
固定負債	78,089	76,472	△1,617	長期借入金の減少
負債合計	112,529	117,564	5,035	
株主資本	42,015	40,776	△1,239	親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び配当金の支払いによる利益剰余金の減少
その他の包括利益累計額	10,101	9,960	△141	
非支配株主持分	300	331	31	
純資産合計	52,417	51,068	△1,349	
負債純資産合計	164,946	168,633	3,686	

© TESS HOLDINGS CO.,LTD. All Rights Reserved.

2. 各セグメントの業績等

© TESS HOLDINGS CO.,LTD. All Rights Reserved.

エンジニアリング事業

フロー型

売上割合

省エネルギー系設備のEPC



再生可能エネルギー系設備のEPC



ビジネス形態の違い

受託型 … 顧客企業から**EPCを受託する**形態
（一般的に建設会社が設備の工事を請負う場合と同じイメージ）

開発型 … **案件をゼロから開発**し、
権利売買やEPCを顧客企業に提供する形態

※EPC：**E**ngineering（設計）、**P**rocurement（調達）、**C**onstruction（施工）の略

エネルギーサプライ事業

ストック型

売上割合

再生可能エネルギー発電事業（FIT・FIP/PPA）





O&M
（オペレーション＆メンテナンス）



電気の小売供給



バイオマス燃料供給

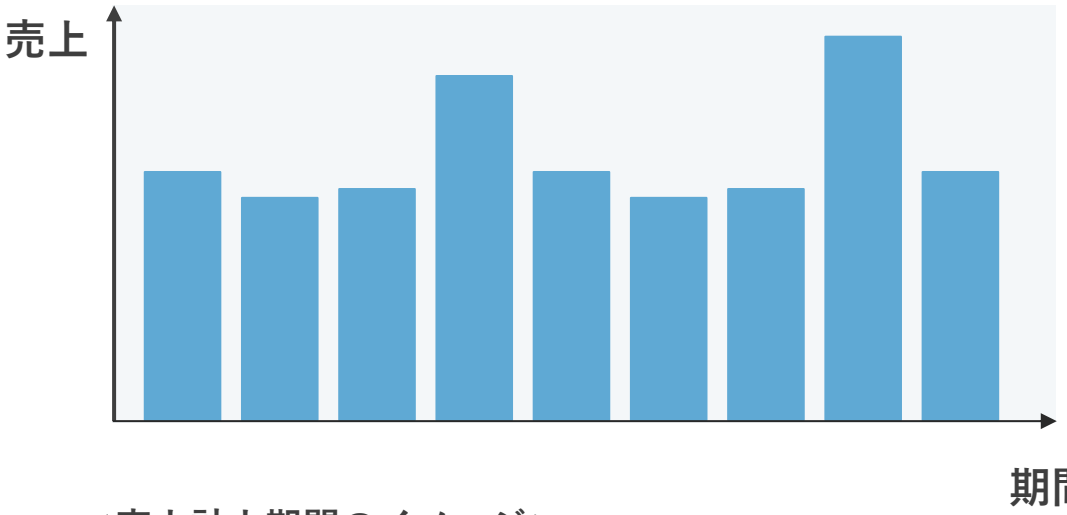


© TESS HOLDINGS CO.,LTD. All Rights Reserved.

エンジニアリング事業

フロー型

その都度、顧客企業から受注するビジネス
一つひとつの案件の売上規模は大きい傾向



＜売上計上期間のイメージ＞

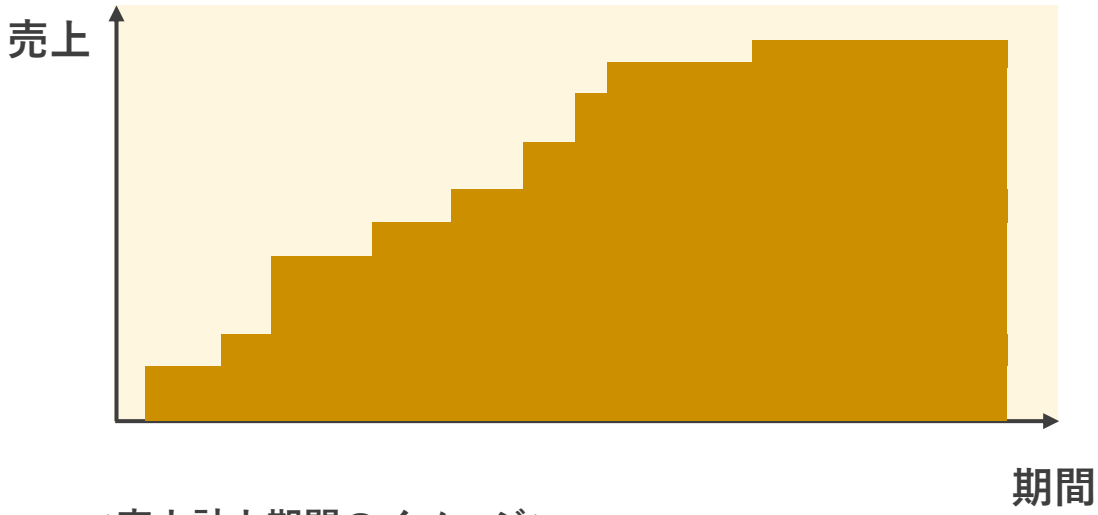
省エネ系設備のEPC：１年～２年

再エネ系設備のEPC：半年～２年

エネルギーサプライ事業

ストック型

継続的に収入を獲得するビジネス
一つひとつ積み上げることで安定収益に



＜売上計上期間のイメージ＞

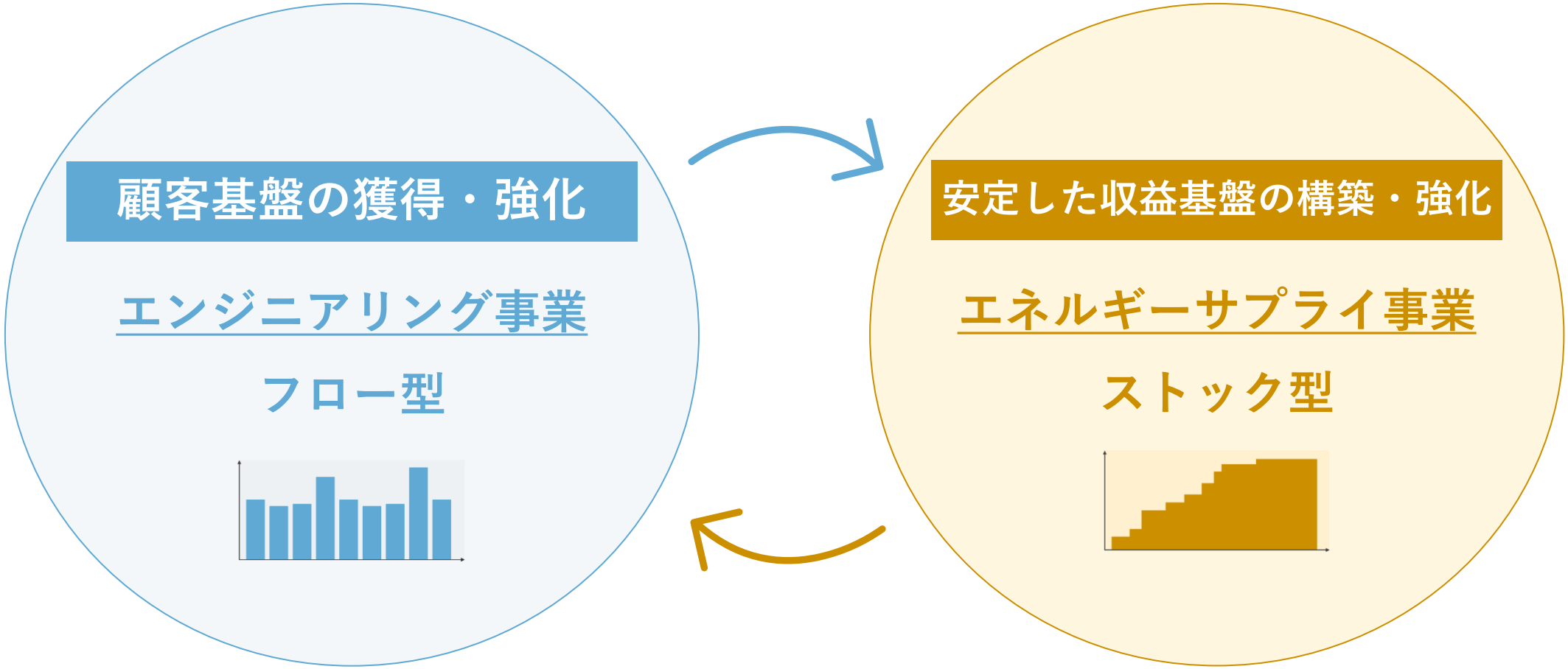
再エネ発電事業：15年～20年

O＆M：15年～20年

© TESS HOLDINGS CO.,LTD. All Rights Reserved.

ビジネスモデル

- フロー型とストック型の循環型ビジネスモデル
- フローとストック双方の収益機会を確保
  （エンジニアリング事業のEPC完了後に、エネルギーサプライ事業のO&M受注に繋げる等）

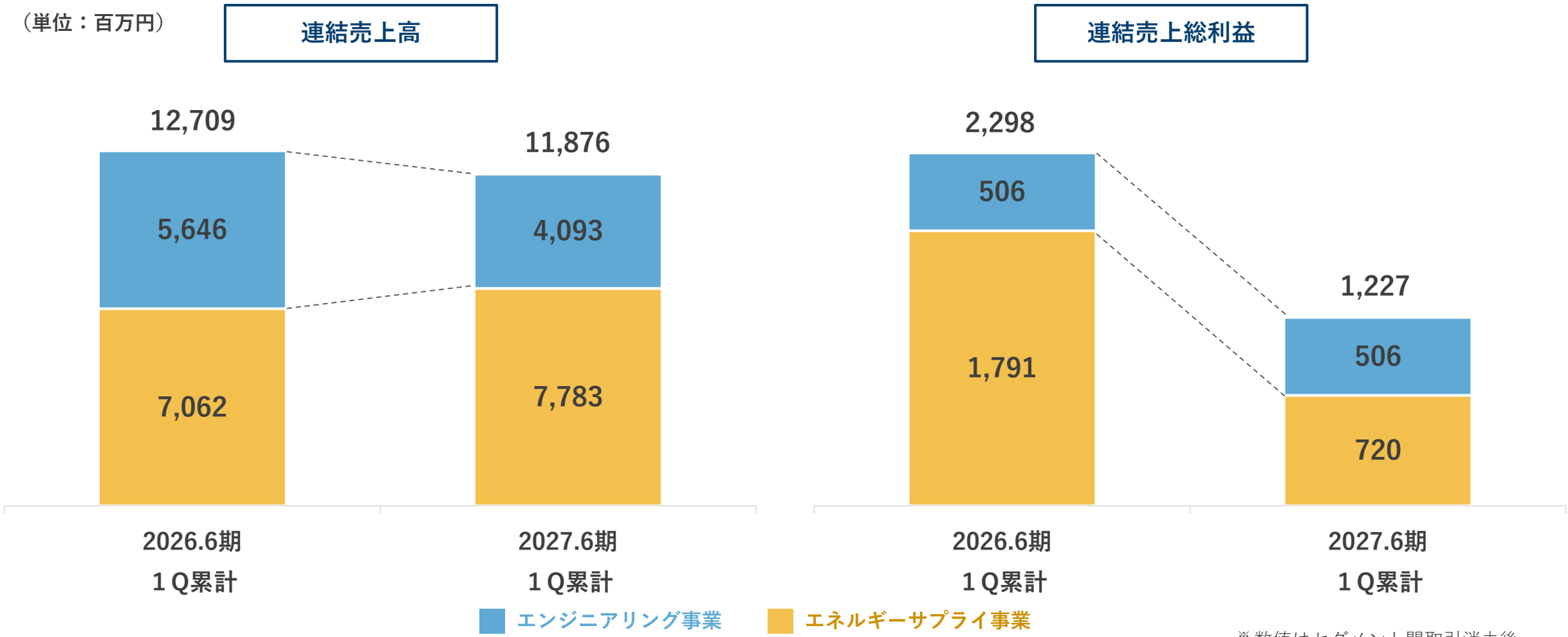


© TESS HOLDINGS CO.,LTD. All Rights Reserved.

セグメント別売上高・売上総利益内訳（前年同期比）

▶ 2027年６月期１Q連結累計期間の売上高及び売上総利益は、前年同期比減収減益

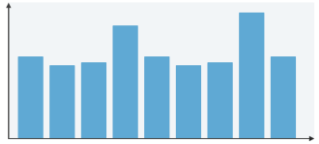
（単位：百万円）



※数値はセグメント間取引消去後

© TESS HOLDINGS CO.,LTD. All Rights Reserved.

フロー型



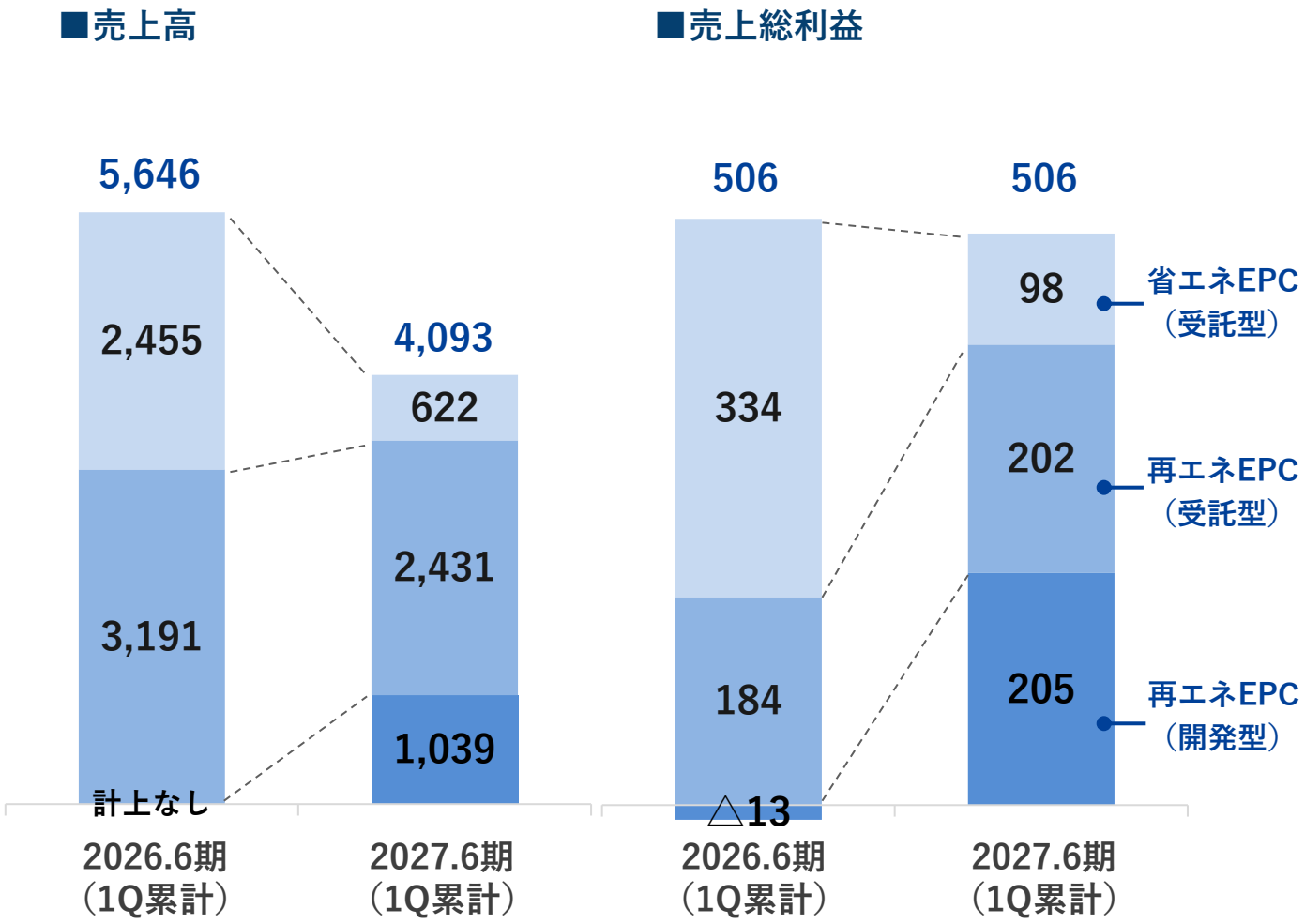
エンジニアリング事業

© TESS HOLDINGS CO.,LTD. All Rights Reserved.

サブセグメント別売上高・売上総利益内訳（前年同期比）

▶ エンジニアリング事業は、前年同期比減収、売上総利益は横ばい

（単位：百万円）



- 省エネEPC（受託型）は、中期経営計画のもと蓄電システム関連事業に注力していることからCGS等の案件数が減少し、前年同期比減収減益
- 再エネEPC（受託型）は、太陽光等の案件数が減少、蓄電池の案件数は増加したが、工事の進捗度合いにより売上への貢献は限定的であったため、前年同期比減収。一方、高採算案件により前年同期比増益。
- 再エネEPC（開発型）は、静岡菊川蓄電所及び東京センチュリー㈱が組成する合同会社の系統用蓄電所のEPC等が順調に進捗し、前年同期比増収増益

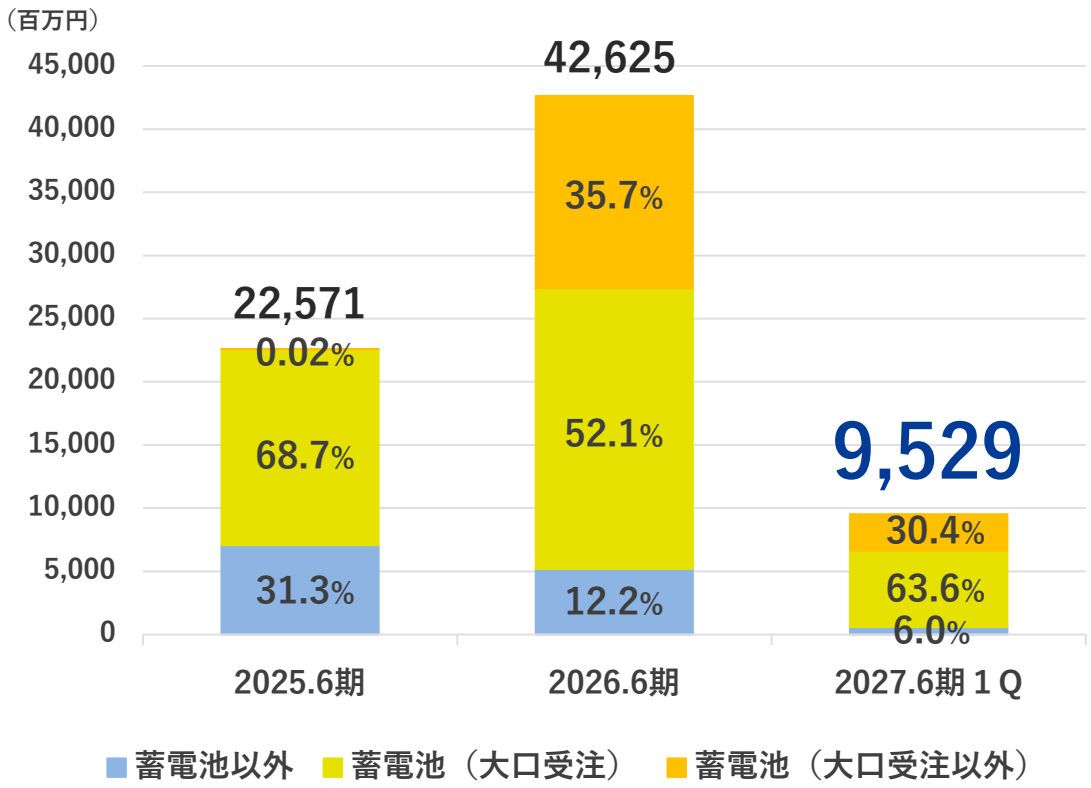
※報告セグメント別売上高及び売上総利益の内訳数値は未監査
※数値はセグメント間取引消去後

© TESS HOLDINGS CO.,LTD. All Rights Reserved.

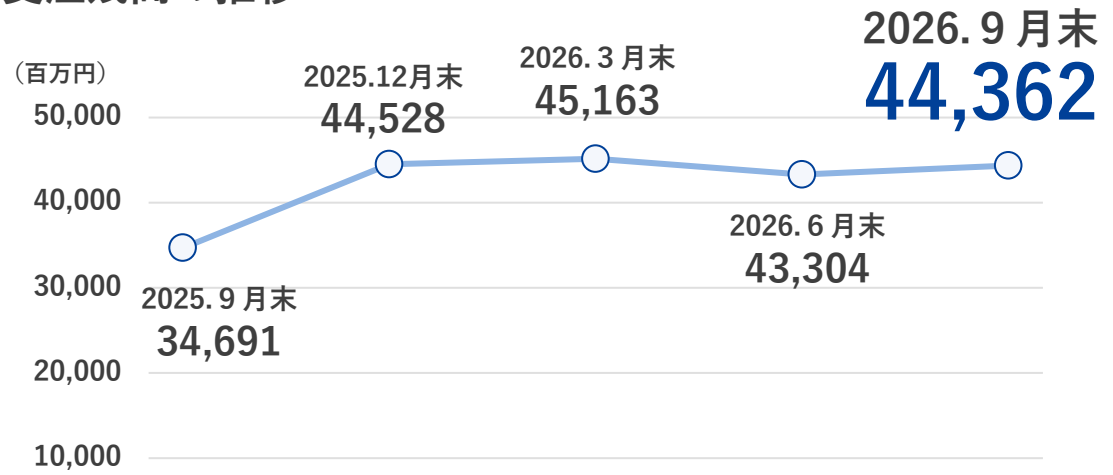
受注高・受注残高

- 受注高は9,529百万円（前年同期比54.6%）、受注残高は44,362百万円（前年同期比127.9%）
- 2025年６月期以降、蓄電池を中心に受注高が大幅に増加

■ 受注高の推移



■ 受注残高の推移



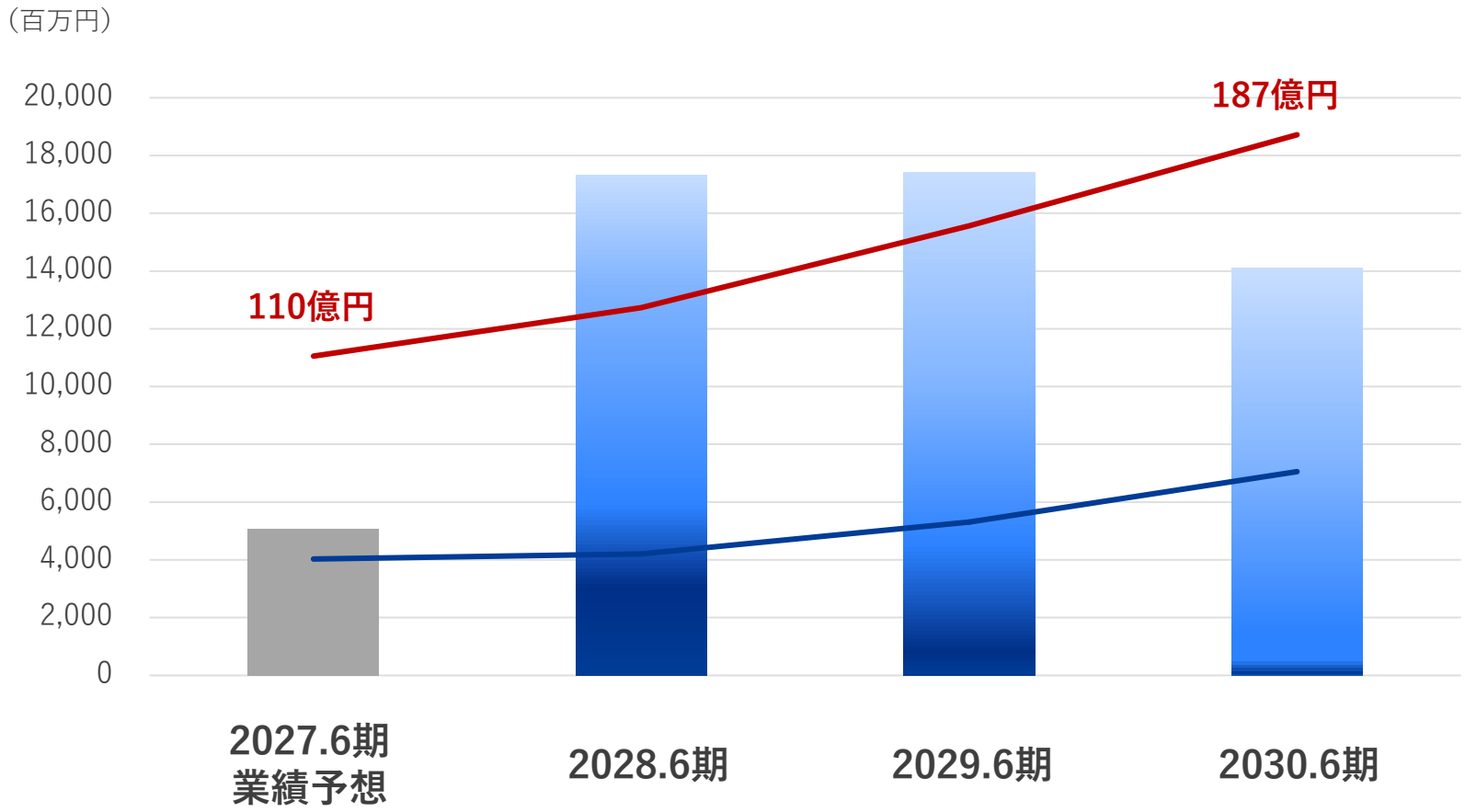
受注残高の主な内訳（2026年９月末時点）		
	蓄電池	96.1%
	太陽光発電設備	1.4%
	その他省エネ設備等	1.1%
	コージェネ・自家発電設備	0.9%
	バイオマス発電設備	0.3%
	燃料転換設備	0.2%

© TESS HOLDINGS CO.,LTD. All Rights Reserved.

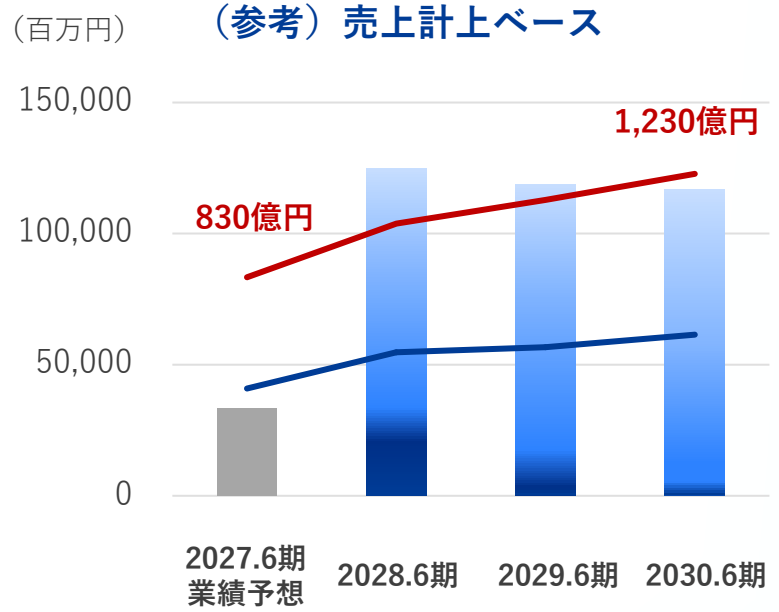
エンジニアリング事業のパイプライン

- エンジニアリング事業について、豊富なパイプラインを保有
- 中期経営計画の達成に向け、確実な受注転換を目指す

エンジニアリング事業のパイプライン（売上総利益・計上ベース）



（参考）売上計上ベース





© TESS HOLDINGS CO.,LTD. All Rights Reserved.

蓄電池EPCの大口受注の獲得

▶ 蓄電池EPCの大口受注を累計約387億円獲得（2026年11月13日時点）

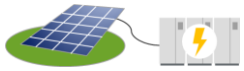
中期経営計画 TX2030 における注力事業分野「蓄電システム関連事業」						
	受注先	受注形態	受注月	受注期	受注金額	納期（予定）
 系統用蓄電所	合同会社静岡菊川蓄電所※1	開発型	2025年３月	2025.6期	約50億円	2027年３月
	DEIバッテリーファンドベータ合同会社※2（大和エナジー・インフラ出資）	開発型	2025年９月	2026.6期	約130億円	2028年４月
	東京センチュリーが組成する合同会社※2	開発型	2025年11月	2026.6期	約90億円	2028年６月
	小諸蓄電所合同会社	受託型	2026年７月	2027.6期	約60億円	2028年３月
 FIT太陽光のFIP転＋蓄電池併設	国内事業会社※3（東証プライム市場上場企業）	受託型	2025年３月	2025.6期	約57億円	2026年１月

※1 今後、受注先である合同会社静岡菊川蓄電所が当社の連結子会社に該当する可能性があります。この場合には、受注金額は連結売上高に計上されません。
※2 本件受注に関する契約は、開発要件が整わなかった場合、解除となる可能性があります。
※3 国内事業会社が運営するFIP太陽光発電所へ併設する蓄電所のEPC（計５件）のうち、４件のEPCについては、国内事業会社を賃借人とする国内事業会社と国内リース会社（東証プライム市場上場企業）とのリース契約により、国内リース会社が受注先となります。
※4 記載している情報はリリース時点のものです。

© TESS HOLDINGS CO.,LTD. All Rights Reserved.

蓄電池EPCの受注の獲得

▶ 2027年６月期１Qにおいて、前頁の大口受注以外にも蓄電池EPC（受託型）の受注を５件獲得

中期経営計画 TX2030 における注力事業分野「蓄電システム関連事業」						
	受注先	所在地	PCS出力	容量	納期（予定）	受注時期
 系統用蓄電所	株式会社糺の森	岐阜県可児市	1,999kW	6,266kWh	2027年３月	１Q
	合同会社クラダシ・インベストメント２号	島根県安来市	1,995kW	8,224kWh	2027年２月	１Q
 FIT太陽光のFIP転＋蓄電池併設	グローバル・インフラ・マネジメント株式会社が運営するファンドが投資を行うSPC	鹿児島県伊佐市	1,990kW	5,018kWh	2027年10月	１Q

※ リリース済の案件のみを表に掲載しております。また、記載している情報はリリース時点のものです。

© TESS HOLDINGS CO.,LTD. All Rights Reserved.

蓄電池関連トピックス

- 当社グループが開発・EPC等を行う「静岡菊川蓄電所」において、工事・試運転が順調に進捗
- 顧客向けの蓄電池EPC（受託型）も順調に進捗



静岡菊川蓄電所での
機関投資家・アナリスト向け現場見学会の様子



デジタルグリッド
アセットマネジメント株式会社様
系統用蓄電所（納入時期：2026年７月）



京セラTCLソーラー合同会社様
FIT太陽光のFIP転＋蓄電池併設
（蓄電池運転開始時期：2026年10月）

© TESS HOLDINGS CO.,LTD. All Rights Reserved.

ストック型



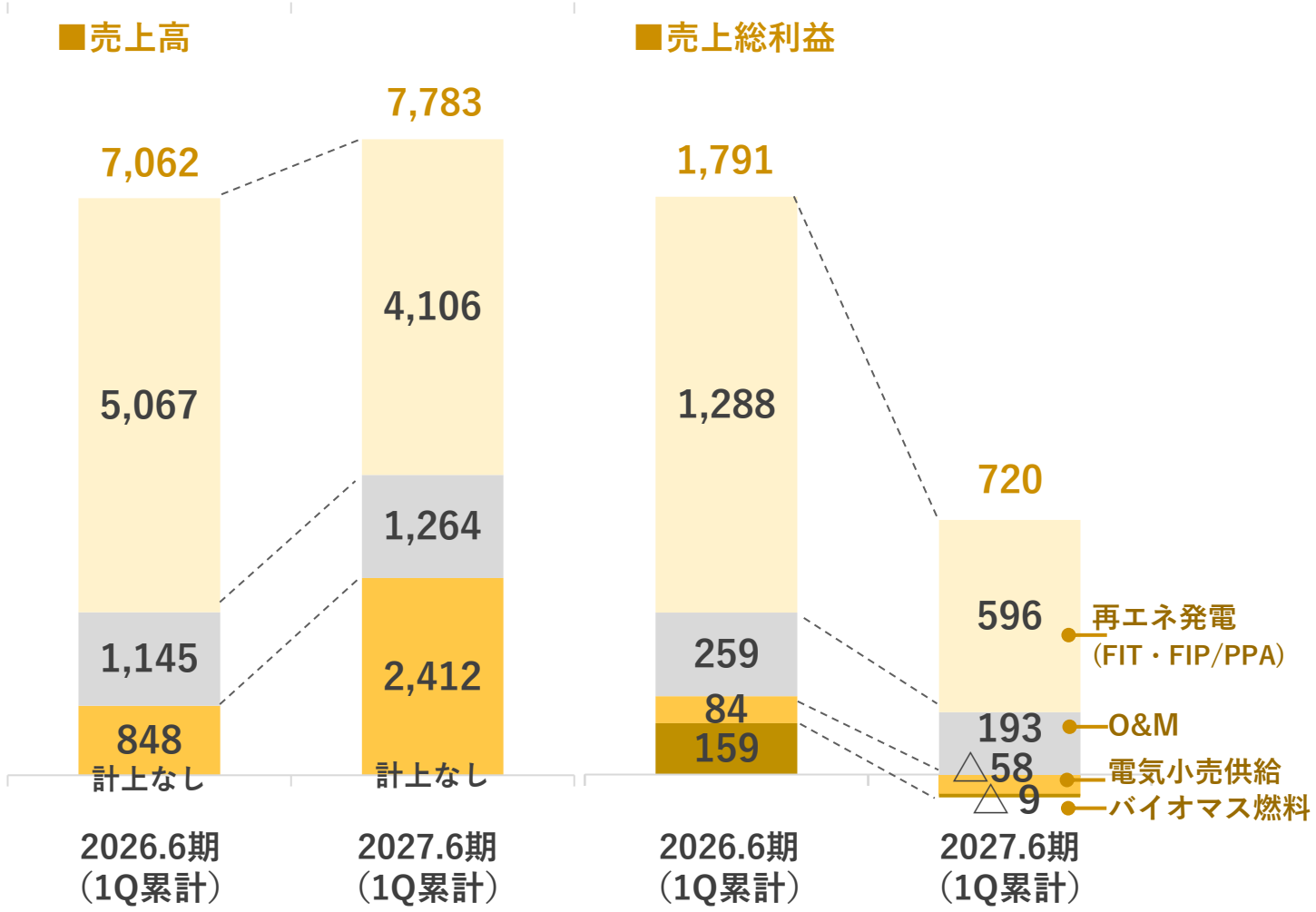
エネルギーサプライ事業

© TESS HOLDINGS CO.,LTD. All Rights Reserved.

サブセグメント別売上高・売上総利益内訳（前年同期比）

▶ エネルギーサプライ事業は、前年同期比増収減益

（単位：百万円）



- 再エネ発電は、「佐賀伊万里バイオマス発電所」の定期点検及び「福岡みやこメガソーラー発電所」等の出力制御の影響により売電収入が減少し、前年同期比減収減益
- O&Mは、不定期に発生するメンテナンス業務が増加し、前年同期比増収。
  一方、定期点検による一時的な原価増により、前年同期比減益。
- 電気小売供給は、市場連動型メニューを中心に供給量が増加・販売単価が上昇し、前年同期比増収。
  一方、市場価格の上昇による原価増加の影響により、前年同期比減益。
  （分散検針による売上及び売上原価の月ズレ影響含む。）
- バイオマス燃料は、PKS燃料の調達・物流コストの増加により、前年同期比減益
  （佐賀伊万里バイオマス発電所におけるPKS消費量に応じて利益を計上しており、当該売上及び売上原価は内部取引により連結消去しています。なお、連結グループ外への燃料販売実績はありません。）

※ O&M、電気小売供給及びバイオマス燃料の連結グループ間の取引については売上高及び売上原価が連結消去され売上総利益のみが計上
※ 報告セグメント別売上高及び売上総利益の内訳数値は未監査
※ 数値はセグメント間取引消去後

© TESS HOLDINGS CO.,LTD. All Rights Reserved.

オンサイトPPAに関するトピックス

- 2027年６月期１Q末時点において、オンサイトPPAモデルを活用した
  自家消費型太陽光発電システムによる再生可能エネルギー電気の供給量は合計約70.0MW（供給先60件）
- 2027年６月期２Q以降、供給を予定している案件は合計約29.9MW（供給先６件）
  東洋炭素㈱様向け大型オンサイトPPAは、2027年６月の事業開始を目指し順調に工事進捗中





東洋炭素㈱様 詫間事業所隣接地向けオンサイトPPA（発電容量約20.0MW、2027年６月開始予定） 工事進捗状況

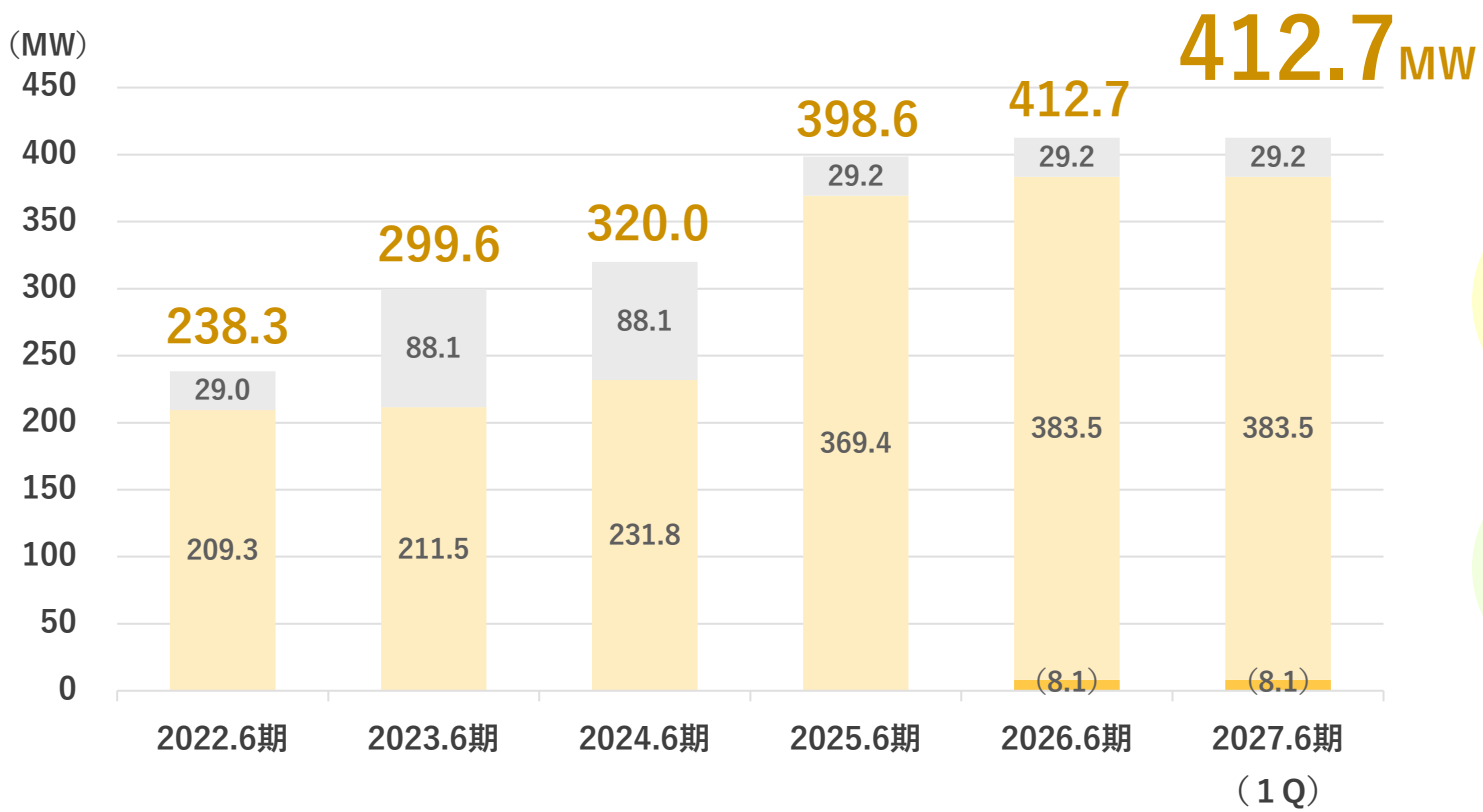
© TESS HOLDINGS CO.,LTD. All Rights Reserved.

再生可能エネルギー発電所の発電容量の推移

▶ FIT及びFIP制度と自家消費型オンサイトPPAモデルで長期安定収益の獲得を図る

再エネ発電設備※容量合計の推移

※太陽光発電所（自家消費型オンサイトPPA含む）、バイオマス発電所、小型風力発電所



連結子会社の保有分　　当社グループ出資先の保有分

（ 内、FIP転＋蓄電池併設済 ）

（持分法適用関連会社及び匿名組合出資を行う合同会社を営業者とする匿名組合）

太陽光　137件　約358.9MW
内、オンサイトPPA 供給先60件 約70.0MW

バイオマス　3件　約53.8MW

※2026年９月末時点

© TESS HOLDINGS CO.,LTD. All Rights Reserved.

資源循環型バイオマス燃料事業に関するトピックス

▶ 資源循環型バイオマス燃料事業（PKS燃料・EFBペレット）の取り組みが、以下のとおり着実に進捗

PKSストックパイル（出荷拠点）を開設・初出荷


初出荷の様子


Kuala Tanjung
ストックパイル

・パーム産業に関するインフラが充実する北スマトラ州にPKSのストックパイルを開設
・PKS燃料・EFBペレットのサプライチェーンを一体的に構築し、燃料供給体制の強化と安定供給の実現を目指す

所在地	インドネシア・北スマトラ州 Kuala Tanjung （クアラ タンジュン）
出荷先	佐賀伊万里バイオマス発電所をはじめとする日本国内のバイオマス発電所


PKS燃料

PKS燃料・EFBペレットの
両サプライチェーンの一体化による
安定供給体制の構築


EFBペレット



「EFBペレット製造」でGGL認証を取得


EFBペレット製造実証工場

・GGL認証はバイオマス製品が持続可能な方法で生産・調達されていることを第三者機関が証明する国際的な認証制度
・EFBペレット製造に関する一連のサプライチェーンにおけるGGL認証は世界初※
・農作物残渣の活用によりサーキュラーエコノミーとストックビジネスの拡大を目指す

GGL green gold label

※プレスリリース時点（2026年９月18日）における公開情報より当社調べ

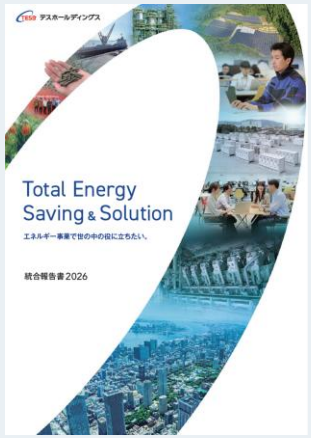
© TESS HOLDINGS CO.,LTD. All Rights Reserved.

情報発信に関するトピックス

▶ 株主・投資家をはじめとしたステークホルダーとの対話強化に向けた情報発信・IR活動を推進

統合報告書の発行

・中期経営計画「TX2030」の進捗や経営陣のメッセージに加え、
お客さまとの対談を新たに掲載する等、内容を充実





統合報告書2026

シェアードリサーチ　アナリストレポート公開

・第三者視点による事業概要や業績動向、中期経営計画
「TX2030」の進捗等を分析したアナリストレポートを公開



アナリストレポート

© TESS HOLDINGS CO.,LTD. All Rights Reserved.

TESSグループの人財戦略

▶ 人財戦略に関わる様々な改革・改善施策を推進

人財戦略の基本方針

- ☑ 会社と個人の成長を促すための攻めの人財配置と育成
- ☑ やりがいと働きやすさを両立した制度や仕組み作り
- ☑ 多様性が活きる文化、職場環境の構築

■ 人財戦略に基づく主な取り組み

採用

- パラアスリート等の障害者雇用促進
- シニアの雇用促進
- 外国籍人財の採用
- 新卒採用における女性社員割合の目標引き上げ
- リファラル制度の導入による採用の強化

教育・研修

- 階層別研修の実施

  役職や階層に応じた体系的な研修制度を運用

  それぞれのキャリアステージに応じたスキル向上を図る

- 付加価値向上に向けたセールスマインド研修の実施
- 経営学習得補助金制度の導入
- 経営戦略としての働き方改革研修の実施（マネジメント対象）

評価

- 異動願届出制度とキャリアアンケートの運用

  新たな挑戦に積極的に取り組め、かつライフステージに左右されることなく継続できる環境・仕組みの構築を図る

- 人事・評価制度の見直し

働き方

- 従業員エンゲージメント調査

  多様な人財の考えや意識を広く収集・分析し、今後の制度改革等に繋げる

- スペシャリストコースの新設
- エリア総合職の新設
- 人権デューデリジェンスの開始
- 各種制度の導入・拡充（テレワーク・時差出勤等）

その他

- ステークホルダー・ダイアログの実施
- 株式に関する制度等（譲渡制限付株式付与制度、従業員持株会、ストックオプション制度）

© TESS HOLDINGS CO.,LTD. All Rights Reserved.

3. 参考資料

© TESS HOLDINGS CO.,LTD. All Rights Reserved.

中期経営計画「TX2030」の全体像

中期経営計画の補足資料につきましては、当社WEBサイト IR情報より併せてご覧ください
https://www.tess-hd.co.jp/ir

基本方針

- 既存ビジネスを収益基盤としつつ、 注力事業分野に成長投資と経営リソースを集中
- 事業構造転換（Transformation）によって高収益化を実現し、ROE及びROICを高める

注力事業分野

［既存ビジネス］
省エネ・再エネソリューション事業
（太陽光・CGS等）

＋

蓄電システム関連事業
・系統用蓄電所の開発
・FIT太陽光のFIP転＋蓄電池併設

＋

資源循環型バイオマス燃料事業

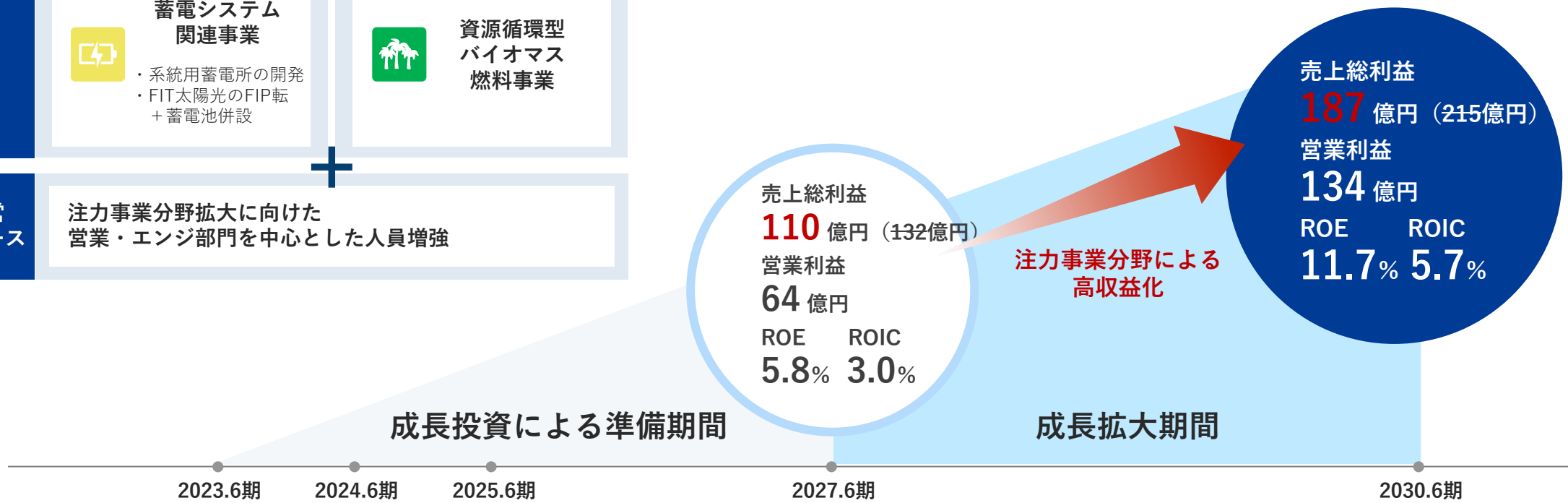
＋

経営リソース

注力事業分野拡大に向けた営業・エンジ部門を中心とした人員増強

企業価値向上への取り組み

ROE/ROIC重視経営	・成長投資を実施することにより事業構造を転換し高収益の実現を目指す ・継続してWACC（加重平均資本コスト）を上回るROICを実現できる事業構造を確立
成長投資と株主還元	・継続的な成長投資による利益成長を実現 ・高収益事業の確立と財務健全性を両立させるためにも、連結配当性向30％目安の株主還元を継続 ・収益拡大による株主還元の拡大を目指す
ESG経営の推進	・E（環境）：Total Energy Saving & Solution の実現 ・S（社会）：事業の成長を支える人財の育成と社会基盤の形成 ・G（ガバナンス）：公正かつ透明性の高い経営



© TESS HOLDINGS CO.,LTD. All Rights Reserved.

各KPIの進捗状況

- 2026年６月期は蓄電システム関連事業がけん引し、前期比で増益、ROE・ROICも向上
- 再生可能エネルギー発電容量は2027年６月期計画を既に達成、2030年６月期計画に向けて容量拡大を目指す
- 注力事業分野における取り組みの推進により各KPIの達成を目指す

Key Metrics	2025/６期 実績		2026/６期 実績		2027/６期 計画	2030/６期 計画
売上総利益	74億円		**104億円**		110億円（~~132~~億円）	187億円（~~215~~億円）
営業利益	25億円		**53億円**		64億円	134億円
ROE	0.5%		**4.5%**		5.8%	11.7%
ROIC	1.4%		**2.5%**		3.0%	5.7%
自社FIP転再エネ容量	0 MW		**8.1MW**		75MW	113MW
累積施工容量(系統用蓄電所) ※連結グループ外向け	63.3MW (受注済)	0 MW (実績)	**375.9MW** **(受注済)**	**0 MW** **(実績)**	100MW	700MW
累積施工容量(系統用以外蓄電所) ※連結グループ外向け	33.1MW (受注済)	0 MW (実績)	**98.7MW** **(受注済※)**	**6.5MW** **(実績)**	120MW	150MW
バイオマス燃料供給量	12.7万t/年		**20.7万t/年**		35万t/年	50万t/年
再エネ発電容量 ※連結子会社の保有分	369.4MW		**383.5MW**		380MW	470MW

※受注済の容量には完工した案件の容量も含む

© TESS HOLDINGS CO.,LTD. All Rights Reserved.

株主優待制度

▶ 株主の皆様の日頃からのご支援への感謝を込めて、株主優待を実施

・毎年６月末日現在の当社株主名簿に記載または記録された10単元（1,000株）以上保有の株主様が対象

・毎年、対象株主様には「テスホールディングス・プレミアム優待倶楽部のご案内」を８月中旬に送付

・対象株主様は保有株式数に応じて進呈されたポイントを「テスホールディングス・プレミアム優待倶楽部」において5,000種類以上の商品からお好みの商品を選択可能







※写真はイメージです。また、優待商品は変更になる場合がございます。

【株主優待ポイント表】（１ポイント≒１円）

保有株式数	優待ポイント数
1,000株～1,999株	3,000ポイント
2,000株～2,999株	7,000ポイント
3,000株～3,999株	15,000ポイント
4,000株～	40,000ポイント

© TESS HOLDINGS CO.,LTD. All Rights Reserved.

連結損益計算書（５期分）

（単位：百万円）

	2023.6期 1Q累計	2024.6期 1Q累計	2025.6期 1Q累計	2026.6期 1Q累計	2027.6期 1Q累計
売上高	8,323	6,221	8,308	12,709	11,876
売上原価	5,856	4,487	6,205	10,411	10,649
売上総利益	2,466	1,733	2,103	2,298	1,227
販売費及び一般管理費	938	1,018	1,158	1,302	1,326
営業利益又は営業損失（△）	1,527	714	944	995	△98
営業外収益	152	195	632	86	129
営業外費用	226	412	819	503	583
経常利益又は経常損失（△）	1,453	498	757	577	△552
特別利益	－	－	471	－	－
特別損失	－	－	292	－	－
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	1,453	498	937	577	△552
法人税等	481	157	222	519	△19
四半期純利益又は四半期純損失（△）	971	340	715	58	△533
非支配株主に帰属する四半期純利益	65	56	30	33	32
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	905	283	684	25	△565

© TESS HOLDINGS CO.,LTD. All Rights Reserved.

四半期会計期間 報告セグメント明細（２期分）

（単位：百万円）

	2026.6期（１Q）	2026.6期（２Q）	2026.6期（３Q）	2026.6期（４Q）	2027.6期（１Q）
売上高	**12,709**	**14,333**	**10,401**	**13,773**	**11,876**
エンジニアリング事業	5,646	6,908	3,886	5,755	4,093
受託型EPC（省エネ）	2,455	1,153	920	446	622
受託型EPC（再エネ）	3,191	5,754	2,965	3,167	2,431
開発型EPC（再エネ）	－	－	－	2,142	1,039
エネルギーサプライ事業	7,062	7,425	6,514	8,018	7,783
再エネ発電	5,067	5,478	4,323	4,782	4,106
O&M	1,145	1,191	1,325	1,685	1,264
電気小売供給	848	755	865	1,550	2,412
バイオマス燃料	－	－	－	－	－
売上総利益	**2,298**	**3,494**	**1,545**	**3,079**	**1,227**
エンジニアリング事業	506	1,382	767	1,936	506
受託型EPC（省エネ）	334	264	398	73	98
受託型EPC（再エネ）	184	1,131	378	384	202
開発型EPC（再エネ）	△13	△13	△８	1,479	205
エネルギーサプライ事業	1,791	2,111	778	1,142	720
再エネ発電	1,288	1,756	426	893	596
O&M※1	259	160	203	203	193
電気小売供給※1	84	5	9	△50	△58
バイオマス燃料※1	159	188	139	96	△９
営業利益又は営業損失（△）	**995**	**2,276**	**320**	**1,733**	**△98**
エンジニアリング事業	152	889	326	1,463	65
エネルギーサプライ事業	1,384	1,821	399	732	301
消去又は全社	△541	△433	△405	△462	△465

※1 連結グループ間の取引については売上高及び売上原価が連結消去され売上総利益のみが計上

※2 報告セグメント別売上高、売上総利益及び営業利益の内訳数値は未監査

※3 数値はセグメント間取引消去後

© TESS HOLDINGS CO.,LTD. All Rights Reserved.

株主・投資家の皆さまからよく聞かれるご質問

■ 蓄電システム関連事業 関連

質問	回答
蓄電池EPC案件の受注は今後も継続的に見込めますか？	蓄電池EPCは当社グループの注力事業分野で、現在も引き合いは堅調です。 案件は2027年６月期中に完工するものから2028年完工予定のものまで幅広く含まれています。
蓄電池EPC案件の売上はどのように計上されますか？	収益認識基準に基づき、工事の進捗に応じて一定期間にわたり売上を計上しています。基本的には主要設備の据付時に進捗率が大きく進む傾向があります。
蓄電池EPC案件の粗利率の水準を教えてください。	受託型EPCは15％程度、開発型EPCは15％以上を目標としています。 案件条件によりばらつきはありますが、平均的にはこのレンジを想定しています。
受注残高が大きい中で、 リソース不足の懸念はありませんか？	有資格者である施工監理技術者の配置可否等を考慮した上で受注しています。 今後の案件増加を見据え、引き続き人員増強等リソース強化に努めてまいります。
蓄電池EPCにおける原価上昇リスクへの対応は？	受注時点での仕入価格の確定や輸入品の為替予約、先物取引によるヘッジ、 価格上昇を織り込んだ受注判断等、複合的な対応を行っています。 また、ベンダーフリーの立場を活かし、特定地域・特定メーカーへの依存を抑え、調達リスクの分散にも努めています。
系統接続遅延のリスクはありますか？	早期の系統協議と工程調整、受注先に対する免責条項の設定等によりリスク低減に努めています。EPCにおいては、工事の進捗に応じて売上を計上するため、業績への影響は限定的と考えています。
系統用蓄電所等の系統連系で対応が求められるIoT製品向けセキュリティ認証制度「JC-STAR」への対応方針は？	業界動向や顧客のご要望を踏まえて、認証取得済み製品の採用拡大や、 サプライヤー各社との連携強化に努めています。

© TESS HOLDINGS CO.,LTD. All Rights Reserved.

株主・投資家の皆さまからよく聞かれるご質問

■ 外部環境の変化（中東情勢等） 関連

質問	回答
中東情勢の不安定化は業績に影響しますか？	中東情勢の不安定化による原油価格上昇や資源不足の長期化により、資材・物流コストの上昇が懸念される一方、省エネ・再エネ投資への関心が高まる可能性もあるため、双方を見据えて対応しています。
資材価格や物流コストの上昇による影響はありますか？	受注時点で仕入価格の裏付けを取ることを基本としており、 受注後に収益性が大幅に悪化するケースは限定的と考えています。
データセンター等による電力需要拡大は、 事業にとって追い風になりますか？	データセンターの新設に伴い、電力需要の大幅な増加が見込まれます。 新設時には不可欠な電源としてコージェネレーションシステム等の分散型電源のEPC提案、稼働後はオンサイトPPA等による電力供給等、当社グループの中長期的な事業機会の拡大につながると考えています。

■ 株主還元関連

質問	回答
株主優待制度の内容を教えてください。	毎年６月末日現在の当社株主名簿に記載または記録された10単元（1,000株）以上保有の株主様を対象に、保有株式数に応じたポイントで各種商品からお選びいただける優待制度を導入しています。

© TESS HOLDINGS CO.,LTD. All Rights Reserved.

用語解説

用語	解説
省エネルギー	資源やエネルギーを効率的に使用することで、エネルギーの消費量を削減することです。
コージェネレーションシステム	分散型エネルギーリソースの一つで、発電と同時に発生する熱を冷暖房や生産プロセスに利用する熱電併給システムのことです。CHP：Combined Heat ＆ Powerと呼称される場合もあります。
再生可能エネルギー	資源に限りのある化石燃料とは異なり、一度利用しても再生が可能であり、太陽光や風力、地熱等、資源が枯渇せず繰り返し利用できるエネルギーのことです。
太陽光発電システム	太陽からの光エネルギーを太陽光パネルで吸収し、電気エネルギーへと変換して利用する発電システムのことです。
バイオマス発電システム	バイオマス資源（生物由来の資源）を燃焼したり、ガス化することで水蒸気やガスを発生させ、それによりタービンを回してエネルギーを得る発電システムのことです。
オンサイトPPA （Power Purchase Agreement）	当社グループが発電事業者として、自家消費型太陽光発電所等の所有・維持管理等を行い、当該発電所等から発電された電力を需要家に供給する契約方式のことです。
EPC	Engineering（設計）、Procurement（調達）、Construction（施工）の略のことです。
FIT（Feed-in Tariff）	「再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法」に基づき、太陽光、風力、バイオマス等の再生可能エネルギーで発電した電力を、電気事業者が一定価格で一定期間買い取ることを国が約束する制度です。
FIP（Feed-in Premium）	再生可能エネルギー発電事業者が発電した電気を卸電力取引市場や相対取引で売電をした場合に、基準価格（FIP価格）と市場価格の差額をプレミアム額として交付する制度のことです。
PKS（Palm Kernel Shell）	パーム椰子の種からパーム油を搾油した後に残った椰子殻のことです。
EFB（Empty Fruit Bunch）	アブラヤシからパーム油を搾油する際の副産物（残渣）である椰子空果房のことです。
系統用蓄電所	産業用の大型蓄電池を電力系統（送配電網）に接続し、充放電を行う施設のことです。 電力が余った時には蓄電し、電力が不足した時には放電することで、電力系統の安定化を図ることを目的としています。

© TESS HOLDINGS CO.,LTD. All Rights Reserved.

ディスクレーマー

本プレゼンテーション資料には、将来の計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、現在入手可能な情報をもとに一定の前提（仮定）の下でなされた当社の経営陣の判断に基づいて記載したものであり、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来情報に明示又は黙示されたものとは大幅に異なる場合があります。

本プレゼンテーション資料に記載されている業界、市場動向、規制動向又は経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものであり、その真実性、正確性、網羅性又は完全性について、当社は何ら表明又は保証するものではありません。

本プレゼンテーション資料に記載されている当社以外の企業等に関する情報及び第三者の作成に係る情報は、公開情報等から引用したものであり、そのデータ・指標等の正確性・適切性等について、当社は独自の検証は行っておらず、何らその責任を負うことはできません。

本プレゼンテーション資料に記載された情報は本プレゼンテーション資料の日付（又はそこに別途明記された日付）時点のものであり、当社は、新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、それらの情報を変更又は訂正する一切の義務を負いません。

© TESS HOLDINGS CO.,LTD. All Rights Reserved.



本資料に関するお問い合わせ先

テスホールディングス株式会社　広報IR・予算チーム

https://www.tess-hd.co.jp/contact/

当社WEBサイトのお問い合わせフォームをご利用ください。